

重層的支援体制整備事業ご担当者様

自立相談支援機関の皆様、その他、ご関係の皆様

**(重層的支援体制整備事業や近年の政策動向にも対応した)**  
**多様な就労困難者の効果的な就労支援のしくみをつくるために!!**  
**試行評価調査プロジェクト(約1年間のプログラム試行評価研究)説明会のご案内**

公益社団法人ユニバーサル志縁センター

文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B):福祉課題への変革プログラムに取り組む  
実践家と組織の評価キャパシティ形成法の開発研究班(代表:大島巖・東北福祉大学教授、副学長)

拝啓

全国で生活困窮者支援に取り組まれている皆様方には、日ごろ、生活困窮の状態にある方々への支援にご尽力されていることに心より敬意を表します。皆様、すでにご存知のとおり、生活困窮者制度がスタートした当初、任意事業の位置づけだった就労準備支援事業が努力義務化されて就労支援の強化が図られたり、近年、重層的支援体制整備事業が開始されるなかでネットワーク型の就労支援が各地で展開されるようになるなど、**就労支援に関するニーズが政策的にも実践的にも高まっています。**

こうした状況に対して、公益社団法人ユニバーサル志縁センターと私たちの研究チームは協働して、生活困窮者等を対象にした就労支援における効果的なプログラムモデル(効果モデル)を開発して参りました。**この効果モデルは、就労支援準備事業の強化や重層的支援体制整備事業におけるネットワーク型就労支援にも対応する内容となっており、2018年度、2019年度に実施した厚生労働省社会福祉推進事業をとおして一定の有効性(エビデンス)を確認してきたものでございます。**次の課題は、より厳格な評価研究によってこの効果モデルの有効性(エビデンス)を確かなものにしていくこととでございます。そこで、**本プロジェクトでは、より厳格な有効性の検証(例えばランダム化比較試験など)を行う研究手法を通して、この効果モデルの有効性を確かめたいと考えています。**また同時に、こうした効果モデルを自組織に根付かせるための能力向上(これを評価キャパシティ形成といいます)についても、**有効な要因等を明らかにしたいと考えています。**

また、このプロジェクトを通して、**相互に実践を学び合う場、より良い実践を全体で共有する場も設けてさせていただき、皆様のお役に立ちたいとも考えております。**

本調査研究プロジェクトは、わが国の生活困窮者支援をより効果的なものにする重要な取組みと考えています。皆様、日々の支援でご多忙のなか大変恐縮ではございますが、本調査研究プロジェクトの趣旨をご理解いただき、**まずは本日も案内の説明会にご参加いただけますと幸いです。**

敬具

記

- ・開催日時:2023年3月27日(月) 15:30~17:30
- ・開催方法:Zoomにて開催(お申込みいただいた方には、改めてZoomの情報をお送りいたします)
- ・説明会の内容:①基調講演、②多様な就労困難者の効果的な就労支援モデルのご説明、③試行評価プロジェクトのご説明、など(これらについての質疑応答も予定しています)

**※説明会の内容は添付のチラシもご参照ください。**

・説明参加のお申込み方法:

Google フォーム(<https://forms.gle/7f5yTXHH5Wstj6XY6>)にてお申込みください(こちらのQRコードからもGoogleフォームにアクセスできます)。

・説明会についてのお問い合わせ:

研究チーム問い合わせ用のE-mailアドレス(shindo@jcs.ac.jp)



以上